

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2024年3月	土橋 稜	『北太平洋亜寒帯西部において海洋中規模渦が有機炭素フラックスへ与える影響』 ハワイ大学マノア校 海洋学部 博士課程 <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2024年1月	鈴木 俊朗	『第4期海洋基本計画について』 内閣府 総合海洋政策推進事務局 参事官 <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2023年11月	酒井 秋絵	『ルソン海峡で観測された海嶺上に捕捉された内部潮汐』 (九州大学大学院 総合理工学府 大気海洋環境システム学専攻) <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2023年9月	桑江 朝比呂	『ブルーカーボン』 (ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 (JBEJBE) 理事長 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究領域長) <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2023年6月	藤倉 克則	『深海の海洋保護区の生態系モニタリングに向けて』 ( (国研) 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 海洋生物環境影響研究センター長) <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2023年3月	田中 衛	『極域における混合過程解明のための乱流、二重拡散対流同時観測データの再解析』 (東京理科大学 理工学部 土木工学科 研究員) <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2023年2月	栗山 善昭	『海上・港湾・航空技術研究所における海洋・港湾研究の最近の話題』 ( (国研) 海上・港湾・航空技術研究所理事長) <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2022年11月	江 思宇 (ジャン シュ)	『“海の砂漠”におけるプロクロロコッカスの生態 -小さくても重要』 (東京大学大気海洋研究所 特任研究員) <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2022年9月	岡村 盡	『古くて新しい資源 「海洋深層水」 高度利用 ～沖縄県久米島から～』 (株式会社ゼネシス 取締役 海洋エネルギー開発部部长 久米島プロジェクト推進部部长) <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2022年5月	金 海珍 (キム ヘジン)	『物理・生態系結合モデルで再現した溶存酸素の変動』 (韓国海洋科学技術院(KIOST) 博士研究員) <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2021年9月	大石 俊	「中緯度の海洋と大気の関係」 （理化学研究所 特別研究員） <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2021年6月	一見 勝之	「我が国の海洋政策について」 （内閣府総合海洋政策推進事務局長） <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2021年5月	眞野 能	「ミズクラゲは海の中でどうやって群れを作れるのか？」 （NHKエンタープライズ ディレクター） <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a>
2020年11月	工藤 久志	「西部北極海におけるメタンガスの放出・消滅過程について」 （神戸大学人間発達環境学科・学術研究員） <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a> <a href="#">詳細を見る</a>
2020年9月	長田 太	「気象協会が提供する海事関係サービスについて」 （一般財団法人 日本気象協会 理事長） <a href="#">プログラム</a> <a href="#">講演要旨</a> <a href="#">詳細を見る</a>
	松浦 邦明	「海洋分野の業務照会」 （日本気象協会 社会・防災事業部長）
	佐藤 淑子	「海事産業向け気象海象データサービス POLARIS」 （日本気象協会 社会・防災事業部）
2020年1月	加藤 幸広	「海の今を知るために-海しる事業-」 （海上保安庁海洋情報部長）
2019年11月	唐木 達郎	受賞論文「夏季の宗谷暖流の傾圧ジェット構造の形成過程について」 （奨励論文賞受賞者：水産研究・教育機構 北海道区水産研究所）
	井上 興治	昨年度の研究活動についての報告

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2020年1月	加藤 幸広	「海の今を知るために-海しる事業-」 （海上保安庁海洋情報部長）
2019年11月	唐木 達郎	受賞論文「夏季の宗谷暖流の傾圧ジェット構造の形成過程について」 （奨励論文賞受賞者：水産研究・教育機構 北海道区水産研究所）
	井上 興治	昨年度の研究活動についての報告
2019年9月	浅輪 宇允	国土交通省大臣官房技術総括審議官 「国土交通省の技術行政～海洋を中心として～（仮題）」
2019年7月 定期総会 講演	小松 正之	「21世紀の北太平洋と海洋生態系 日本は今後何をどうすべきか」 （生態系総合研究所代表理事・東京財団政策研究所上席研究員）
2019年5月	谷口 旭	「プランクトンが語る海の環境と生態系」 （三洋テクノマリン社 生物生態研究所長） A
2019年3月	菅井 洋太	「相模湾沿岸における細菌の増殖の変動」 （創価大学大学院 工学研究科 環境共生工学専攻）
	井上 興治	「海洋資源・エネルギー研究会の取り組み海洋深層水の利用に関するアンケート調査（中間報告）」
2019年1月	道田 豊	「ユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）の最近の動向」 （東京大学大気海洋研究所国際連携研究センター長）
2018年11月	井手 喜彦	受賞論文「日変動する海面の熱収支が風によって駆動される流れに及ぼす影響」 （奨励論文賞受賞者：九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター 沿岸海洋工学研究室 学術研究員）

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
	井上 興治	「海洋資源・エネルギー研究会の取り組み 海洋深層水の利用に関するアンケート調査（中間報告）」
2018年9月	寺島 紘士	「海洋の持続可能な開発をめぐる内外の取組みの進展」 （笹川平和財団参与）
2018年7月 定期総会 講演	羽尾 一郎	「第三期海洋基本計画」 （内閣府総合海洋政策推進事務局局長）
2018年5月	谷 伸	「Seabed 2030 海底地形の理解が支える人類の未来」 （東洋建設株式会社 顧問）
2018年3月	児玉 武稔	「海水中の微量アンモニウム塩分析法の開発」 （国立研究開発法人 水産・教育研究機構 日本海区水産研究所 研究員）
2018年1月	大和 裕幸	「海洋産業の技術開発と人材育成」 （国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所（うみそら研） 理事長）
2017年11月	増永 英治	受賞論文「海洋観測と数値計算を用いた岩手県大槌湾における河川水混合過程の評価」 （奨励論文賞受賞者：茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター）
2017年9月	禮田 英一	「ブラジル見聞録－日伯海洋開発プロジェクトなど大規模事業から知ったブラジル社会とビジネス流儀－」 （国研）海上・港湾・航空技術研究所の海上技術安全研究所（海洋開発担当研究連携主管）
2017年7月 定期総会 講演	井上 興治	「超大規模な海洋深層水の活用に関する調査研究」 （NPO海口マン21 理事）
2017年5月	中原 裕幸	「我が国の海洋政策と海洋産業を考える」 （一社）海洋産業研究会の常務理事

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2017年3月	坂下 広朗	「i-shipping」の未来－「情報技術が拓く海事のイノベーション」 （国土交通省技術総括審議官）
2017年1月	甲斐 正彰	「最近の海洋政策の動向について」 （内閣官房総合海洋政策本部事務局長）
2016年11月	市川 洋	「海のロマンと科学を結ぶ海洋教育」 （日本海洋学会 教育問題研究会世話役（海洋学研究者））
	朝日 俊雅	「リンを指標とした沿岸域（瀬戸内海播磨灘）表層水中の懸濁物の水平分布および性質」
2016年9月	山崎 禎昭	「造船業の栄枯盛衰、そして未来は・・・」
2016年7月 定期総会 記念講演	小松 正之	私の見た世界－国際社会と日本の弱点－ （東京財団上席研究員）
2016年5月	大脇 崇	「国土交通省における海洋利用・開発に係る取り組み」 （国土交通省 技術総括審議官）
	田中 雄大	「ベーリング海グリーンベルトでの潮汐混合を通じた栄養塩・鉄供給」 （東京大学大気海洋研究所）
2016年3月	谷口 旭	「栄養塩の理解」 （東北大学名誉教授）
2016年1月	寺島 紘士	「日本の海洋を考える」（講演概要） 笹川平和財団常務理事問題を事・笹川平和財団海洋政策研究所長

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2015年11月	加藤 茂	「海洋情報の活用の現状-航海用電子参考図new pec（ニューペック）の事例」（講演概要） （一般財団法人 日本水路協会 常務理事）
2015年9月	干場 康博	Along-coast shifts of plankton blooms driven by riverine inputs of nutrients and fresh water onto the coastal shelf: a model simulation 参考和訳: 栄養塩と淡水の沿岸域への河川流入によって引き起こされたプランクトンブルームの海岸に沿った移動: モデルシミュレーション （北海道大学大学院 地球環境科学研究所） （講演概要）
2015年7月 定期総会 記念講演	高橋 正征	海洋深層水; 次世代の新しい資源 （海洋深層水利用学会会長、（公社）日本水産資源保護協会会長、 東京大学・高知大学名誉教授）
2015年5月	島田 克也	海洋エネルギー利用にあたっての環境配慮について （いであ株式会社 国土環境研究所 副所長）
	阿部 泰人	熱帯収束帯の南北変位が励起したロスビー波 （北海道大学 低温科学研究所）
2015年3月	實原 定幸	海洋温度差発電（OTEC）の最近の動向 （株式会社ゼネシス 代表取締役社長）
2015年1月	酒匂 敏次	海口マンの初夢三題 1. 海洋深層水物語 2. A.M.SOC. 3. クジラ回遊モデル&日本列島改造論 （（一財）海洋政策研究財団 理事）
2014年11月	長田 太 織田 陽一	“温度差”をはじめとする、海洋開発の現状と深層水の利用について （三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 顧問） （内閣官房 総合海洋政策本部事務局 参事官補佐）
2014年9月	永井 平	豊後水道における急潮現象 ～月がコントロールする沿岸災害～ （東京大学大学院 理学系研究科）
2014年7月 定期総会 記念講演	井上 興治	離島における海洋エネルギーの利用 （NPO海口マン21 理事・海洋エネルギー研究会 主査）

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2014年5月	難波 喬司	港湾物流を考える視点 （京都大学 客員教授・国土交通省大臣官房 前技術総括審議官）
	許 永久	巨大クラゲNemopilema nomuraiの発生と黄海と東シナ海における海面水温、 植物プランクトンブルームの経年変動 （名古屋大学大学院 環境学研究科）
2014年3月	影山 幹雄	内航海運の現状と課題 （日本内航海運組合総連合会 理事長）
2014年1月	加藤 由起夫	物流政策の推進と海への期待 （国土交通省 物流審議官）
2013年11月	小野 芳清	海上輸送の将来展望 （（一社）日本船主協会 理事長）
2013年9月	大庭 靖雄	わが国の物流について （（一社）日本物流団体連合会 理事長）
2013年7月 定期総会 記念講演	加藤 茂	日本の海図のこれから （（一財）日本水路協会 常務理事）
2013年5月	堤 英輔	有明海諫早湾湾口付近における潮流と乱流混合に関する研究 （愛媛大学 沿岸環境科学研究センター 研究員）
	伊佐知 稔	アンモニア酸化能を有する海洋古細菌の生態 （東京大学 大気海洋研究センター 微生物分野 特任研究員）
2013年3月	井上 興治	沖合離島のエネルギー問題について （NPO海口マン21 理事・海洋エネルギー研究会 主査）

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2013年1月	長田 太	わが国の海洋政策の展望 （内閣官房 総合海洋政策本部事務局長 内閣審議官）
2012年11月	久田 安夫	日本の緊急大課題とその対応策 ―海からの視点を中心に― （NPO海口マン21 理事長）
2012年9月	山内 章裕	ソマリア沖・アデン湾における海賊問題について （（一財）日本船主協会 海務部課長）
2012年7月 定期総会 記念講演	仲田 成徳	日本の離島の現状と振興策について （全国離島振興協議会 (財)日本離島センター 調査研究部長）
2012年5月	平野 大輔	Characteristics of Observed Turbulent Mixing across the Antarctic Slope Front at 140°E, East Antarctica. （東京海洋大学 博士研究員）
	増田 貴子	Lagrangian observation of phytoplankton dynamics at an artificially enriched subsurface water in Sagami Bay, Japan. （東京大学大学院 農学生命科学研究科）
2012年3月	渋谷 正信	日本の海中工事技術について -現状と今後の見通し- （(株)渋谷潜水工業 代表取締役社長）
2012年1月	田畑 日出男	東日本大震災と、その復興にむけて （いであ(株) 代表取締役会長）
2011年11月	酒井 英次	21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン （海洋政策研究財団 海技研究グループ チーム長）
2011年9月	山田 博資	海洋エネルギーポテンシャルの把握に係る調査 （みずほ情報総研(株) 環境・資源エネルギー部 チーフコンサルタント）

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2011年7月 定期総会 記念講演	角皆 静男	海洋を介した物質循環と気候変化に関する研究 （NPO海口マン21 副理事長）
2011年5月	和川 拓	北太平洋亜寒帯域における海洋循環に及ぼす天皇海山列の影響とその機構 （独）水産総合研究センター 東北区水産研究所 理学博士）
2011年3月	綿貴 啓	生物環境からみた沖の鳥島の活用について （株）アルファ水工コンサルタンツ 技術第二部長）
2011年1月	中道 正人	沖の鳥島プロジェクトなどについて（遠隔離島における活動拠点の整備） （国土交通省 港湾局振興課 海洋利用開発室）
2010年11月	齋藤 隆	海洋国家 日本の防衛 （株）日立製作所 特別顧問・（前）防衛省総合幕僚長）
2010年9月	大森 信	沖の鳥島でサンゴを増やす （阿嘉島臨海研究所 所長）
2010年7月	久田 安夫	沖の鳥島問題について考える （NPO海口マン21 理事長）
2010年6月 定期総会 記念講演	工藤 栄介	アジアに生きる日本の海事産業―「2050年の日本」からのメッセージ （財）海洋政策研究財団 特別顧問）
2010年5月	高橋 正征	JTL総合研究所構想： 海水資源利用への切り替えなどで社会の持続性を強化するチャレンジ （東京大学名誉教授・高知大学名誉教授）
2010年3月	高橋 重雄	最近の波エネルギー利用技術の開発 （独）港湾空港技術研究所 研究主幹）

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・(所属は当時を掲載)
	小原 恒平	新たな技術への挑戦 (財)沿岸技術研究センター 理事長)
2009年11月	陶 正史	海洋基本計画と海洋情報の管理 (財)日本水路協会 専務理事)
2009年9月	西川 史朗	簡単モデルを用いた混合層深度前線の形成メカニズム (気象研究所 海洋研究部 客員研究員)
	角皆 静男	ブロッカーによる深層循環の模式図はおかしい (何が氷期-間氷期の周期的変動をおこしたか) (北海道大学 名誉教授)
2009年7月	堀 哲郎	低炭素社会実現に貢献する海洋深層水 (清水建設(株) 新エネルギーエンジニアリング事業部 部長)
	杉本 亮	Nitrogen Isotopic Discrimination by Water Column Nitrification in a Shallow Coastal Environment (福井県立大学 海洋生物資源学部 海洋生物資源臨海研究センター)
2009年6月	石井 春雄	黒潮 (財)日本水路協会 審議役)
2009年5月	青山 伸昭	サハリン1プロジェクトー原油パイプライン完成までの軌跡ー 【Enjoy Difficulties】のスローガンのもとに (新日鐵エンジニアリング(株) 執行役員)
2009年3月	大和田 紘一	八代海的环境保全とその再生活動 (熊本県立大学 教授)
	久田 安夫	「日本の持続可能な未来のあり方」 -日本の海は宝の山- (株)ゼネシス 取締役最高顧問)

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2009年1月	酒匂 敏次	海口マン 2009 （海族研究室 代表/東海大学 名誉教授）
2008年11月	角 洋一	海洋の統合的な管理に向けての人材育成 （横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター センター長 教授）
2008年9月	徳山 栄一	海底資源 （東京大学海洋研究所 教授）
	Eko Siswanto	Optimal Primary Production Model and Parameterization in the Eastern East China Sea （名古屋大学地球水循環研究センター）
2008年7月	矢澤 一良	海と健康 （東京海洋大学 教授）
	小野 数也	Water Mass Exchange and Diapycnal Mixing at Bussol ' Strait Revealed by Water Mass Properties Journal of Oceanography, （北海道大学低温科学研究所）
2008年5月	榮 雄生	海事コンサルティングビジネス （(株)日本海洋科学 常務取締役）
2008年3月	芦田 譲	世界と日本のエネルギー・食料の現状と将来 （NPO環境・エネルギー・農林業ネットワーク 理事長/京都大学 名誉教授）
	角皆 静男	海が制御してきた大気中の二酸化炭素 （北海道大学 名誉教授）
2008年2月	山内 潤三	日本文学と海 （NHK神戸ー大阪文化センター講師/西北大学（中号区西安市） 名誉教授）

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2007年11月	八島 邦夫	海図（海の地図） （(財)日本水路協会 常務理事）
2007年9月	川嶋 昭二	こんぶ再発見 （NPO日本国際湿地保全連合 顧問）
	石津 美穂	宗谷暖流沖合フロント域にみられる冷水帯の形成機構 （東京水産大学大学院 水産学研究科）
2007年7月	柴田 鐵治	南極からの地球と人類の未来を考える （国際基督教大学 客員教授）
2007年3月	谷口 旭	海の環境と生態系－再びその恩恵の下へ （東京農業大学網走キャンパス 教授/東北大学 名誉教授）
2006年11月	浅井 恒雄	国際科学技術洋上研究所の夢
	久田 安夫	海から見た21世紀の国土ビジョン研究会の報告 （(株)ゼネシス 名誉会長）
2006年9月	大塚 耕司	地球環境容量と持続可能な資源利用の考え方 （大阪府立大学大学院海洋システム工学分野 助教授）
	小林 克美	海の仲間がはじめた 海洋環境調査支援活動（Sea Keepers） （マザーシップテクノロジー(株) 代表取締役）
2006年7月	内本 圭亮	形状抵抗で決まる水路の流量 （北海道大学低温科学研究所）

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
	末次 貴志子	深海底生魚類にみられる昼夜間での種組成変化 （環境省地球環境局）
2006年5月	深澤 理郎	海洋大循環と気候変動との関連 （地球環境観測研究センター 海洋大循環観測研究プログラム・プログラムディレクター）
2006年3月	竹内 良夫	海から見た21世紀の国土ビジョン研究会の報告 （(株)竹内良夫事務所 代表取締役）
2005年11月	川嶋 昭二	海に対する思い （NPO日本国際湿地保全連合 顧問）
	上 真一	クラゲをめぐる諸問題 （広島大学大学院生物圏科学研究科/広島大学理事 副学長）
2005年9月	塚本 勝巳	鰻にまつわる話 （東京大学海洋研究所 教授）
2005年7月	植松 光夫	無人海洋大気観測艇「かんちゃん」の挑戦 （東京大学海洋研究所）
2005年5月	増島 雅親	亜寒帯前線を横切る親湖水の輸送と北太平洋中層水の形成 （東京大学大学院 理学系研究科）
	大槻 晃久	日本国内の極地・オホーツク海の観測 （国立極地研究所）
2005年3月	榊澤 洋	人と魚 （(株)京急油壺マリンパーク 常務取締役館長）

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2004年11月	梶原 武	漁場と漁業 （東京大学海洋研究所 元教授）
2004年9月	角皆 静男	海の生物が炭酸ガス問題に果たす役割に関する誤解あれこれ （北海道大学 名誉教授）
	岩淵 義郎	海底地形について （(財)日本水路協会 技術顧問）
2004年7月	大森 信	サンゴ礁にまつわる話 （阿嘉島臨海研究所 所長）
2004年5月	川口 弘一	海洋生物 （東京大学海洋研究所 名誉教授）
	中原 裕幸	海洋深層水を取り巻く状況 （(社)海洋産業研究会 常務理事）
2004年3月	柴田 鉄治	南極と海 （国際基督教大学 客員教授）
2003年11月	南部 伸孝	海－よもやま話 （(社)日本造船工業会 専務理事）
2003年9月	梶原 武	ムラサキイガイの生態 （東京大学海洋研究所 元教授）
2003年7月	久田 安夫	沖ノ鳥島の有効活用に対する提案 –地球環境改善への貢献 （(株)ゼネシス 会長）

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2003年5月	寺本 俊彦	海・水・生き物の一切手も切れぬ絆に結ばれて （東京大学 名誉教授）
2003年4月		<b>【NPOへ移行】</b> 以下は任意団体の活動記録
2003年3月	三橋 宏次	インドネシアの自然と水産業 （(株)ジーエスエンジニアリング 代表取締役）
	北川 弘光	海と水 （海洋政策研究財団 技術顧問）
2002年7月	池上 康之	海洋エネルギー発電の現状報告 （佐賀大学海洋エネルギー研究センター 助教授）
2002年5月	膳 昭之助	化粧品「Evidence Based Skincare」の機能化の試みと海洋深層水 （ワミレス・コスメティック(株) 研究所長）
	菅井 和夫	夢の超高速船テクノスーパーライナー （(株)ゼネシス 常任最高顧問）
2002年3月	邊見 正和	日本周辺の海事情
	吉田 孝男	海口マン21への期待 （NPO環境資源保全研究会 理事長）
2001年11月		「京急油壺マリンパーク」研究視察

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2003年5月	寺本 俊彦	海・水・生き物の一切手も切れぬ絆に結ばれて （東京大学 名誉教授）
2003年4月		<b>【NPOへ移行】</b> 以下は任意団体の活動記録
2003年3月	三橋 宏次	インドネシアの自然と水産業 （(株)ジーエスエンジニアリング 代表取締役）
	北川 弘光	海と水 （海洋政策研究財団 技術顧問）
2002年7月	池上 康之	海洋エネルギー発電の現状報告 （佐賀大学海洋エネルギー研究センター 助教授）
2002年5月	膳 昭之助	化粧品「Evidence Based Skincare」の機能化の試みと海洋深層水 （ワミレス・コスメティック(株) 研究所長）
	菅井 和夫	夢の超高速船テクノスーパーライナー （(株)ゼネシス 常任最高顧問）
2002年3月	遠見 正和	日本周辺の海事情
	吉田 孝男	海口マン21への期待 （NPO環境資源保全研究会 理事長）
2001年11月		「京急油壺マリンパーク」研究視察

## 定例卓話会

開催月	講師	テーマ・（所属は当時を掲載）
2001年9月	三橋 宏次	漁港をめぐる理解と誤解 （(株)ジーエスエンジニアリング 代表取締役）
	梶原 武	ウミガメについて （東京大学 名誉教授）
	菅井 和夫	海ロマン21は政策提言型知識人の集まり （(株)ゼネシス 常任最高顧問）
2001年7月		沖縄 阿嘉島臨海研究所視察
2001年5月	大森 信	さんご礁を取り巻く課題 （(財)熱帯海洋生態研究振興財団 理事）
	角皆 静男	有明海の海苔問題と化学海洋学 （北海道大学 名誉教授）
	渡邊 太郎	海洋製氷機について （(株)東亜利根ボーリング環境・エネルギー部 部長）
	大内 一之	農水省の海域肥沃化プロジェクトの進捗状況について （(株)大内海洋コンサルタント 代表取締役）
2001年3月	大和田 紘一	海洋微生物の生態 （熊本県立大学環境共生学部 教授）
	梶原 武	海産汚損付着生物について （東京大学海洋研究所 元教授）
2001年1月		オキシテック研究所視察